



ももぞの学園全景

# ももぞの

発行所

社会福祉法人

ももぞの学園

〒701-1461

岡山市北区粟井2788番地

TEL 086-299-0621(代)

発行人 安井 直人

編集人 松本利実子

## 広報『ももぞの』100号を記念して

社会福祉法人ももぞの学園

理事長 安井 直人

広報『ももぞの』は、昭和50年社会福祉法人ももぞの学園認可の年に発刊を迎え、この度100号の節目を迎えることとなりました。

記念すべき第1号は、B5判4Pモノクロ印刷からスタートしました。広く法人を支えていただいている皆様へ「ももぞの学園」へのご支援のお願いや施設の現状をお伝えすることを目的に、様々な記事を掲載してまいりました。

節目の25号からはより詳細な施設の日常を特集し、皆様に施設の実情を知っていただく内容を掲載いたしました。

法人40周年記念号からは、モノクロ印刷からフルカラー印刷に変更し、広報配布地区も、足守中学校区から、備中高松・阿曾地区を含んだ地域へと拡大しました。

年を追うごとに広報誌の掲載内容も変化し、号をまたいで展開される企画など、その年々において関わる職員の個性が光っています。

今年度も幅広い職員層にて作成に取り組み、より読み応えのある内容を掲載できるように試行錯誤を重ねています。

時代は活字離れが進み、世間的にも広報の在り方は画一的なものではなく、広報誌やソーシャル

ネットワークサービス(SNS)、動画提供など多様化を見せています。ももぞの学園でも令和3年よりFacebook・Instagram・TwitterとSNSの活用を入れ始めました。今後は動画撮影などを行い、情報を発信する方法の幅を広げていけるように活動していきます。

「より広く、より多くの皆様に、ももぞの学園のことを知ってもらいたい」

その気持ちを第一に、今日に至るまで、職員、利用者、ならびに地域住民をはじめとする多くの皆様に支えていただき、広報『ももぞの』は100号まで発刊に至りました。心より感謝申し上げます、今後も広報誌でしか表現できないこと、お手元にお届けすることで温もりを感じていただけることを大切にしながら、読み応えのある広報『ももぞの』をお送りしていきます。

また『地域の方のお役に立つ法人』として、これからも様々な形でご縁を結び、お役に立てるよう努めていきます。

今後とも社会福祉法人ももぞの学園に対しまして、温かいご理解のもと、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 百代一周忌に想う

百代兄 ももぞの学園評議員

岡嶋 邦義

あの日駆けつけたとき、瞳孔は開き虚ろな瞳で、薄雲に覆われてゆく月のように命の光を失いかけていた。やがてかすかに息を吐き、もう二度と吸うことはなく目を閉じた。百代との別れだった。

「母さんのところに逝くとい——」百代は私が看取った。母との暗黙の約束であった。ほっとしたものの、百代を中心に暮らしてきただけに寂しさが忍び寄る。

昭和23年、次女澄代(当時3歳)が亡くなった。9月の雨の日だった。「澄代が濡れる」と傘を2本持ち、土饅頭の上に差し掛けながら、母は肩を震わせ嗚咽し、手を泥で汚していた。私(当時5歳)はその母の姿が哀れで、悲しく、寂しくやりきれない想いを抱き、今でも雨の降る日には時々蘇る。そしてその4年後、母が子供を宿したとき、澄代の生まれ変わりと喜んで。そして百代が生まれた。障害者であった。そうして百代の名をとって「ももぞの」の夢を描き、命の詩を謳い始めた。

ももぞの建設の話が浮田地区に持ち上がる、地域の人が集い、障害のある子を持った母は話した。建設への反対や

心ない言葉があったが、最後に古老の方が「これ以上小母さんを泣かさんでええじゃろう！」と言ひ、皆は頷いた。町長をはじめ、役所の方や地域の心ある人々の情けの中で「ももぞの」は出発した。沢山の協力者の中でも報道機関の方々の力は大きかった。母は頭を下げて礼が言いたいと言っていた。

世の中は戦後少し落ち着き、福祉に目が向けられ始めていた。ももぞのがまだ混沌としていた頃、3人の園長候補者があった。その中で母と交流の深かった旭川学園の江草安彦先生が「奥山氏を推薦します」と書かれ、そして、選んだのは母であった。そのはがきは母の形見の箱の中に今も大切に保管されている。

過労で亡くなった奥山先生(初代ももぞの学園長)の香典返しを持ち帰った母は、仏壇に供え「先生許してください。私は罪の種を



は罪の種を  
ときまし  
た」と肩を  
震わせ暫く  
嗚咽した。  
またも子ど  
もを亡くし  
た思いだっ  
たのだら  
う。それか

ら母は「ももぞの」のことを口にするこ  
とが少なくなった。

母方の祖父の離れで津田白印(孤児救済事業・浄土真宗僧侶・南画家・書家・昭和21年忘)が絵を描き、その傍で母が墨をすりながらお喋りをしたと云う。そのとき白印の教えが母の心の中に染み込んでいったのだろうか。石井十次先生、江草先生、皆、宗教を持つておられた。

母もしかり、親鸞聖人を敬愛していた。そこには皆「慈愛、そして信念が流れている。百代はその母に抱かれ微笑んでいるだろう」。



百代さんとお別れから1年が経ち、現在の想いを兄邦義さまに綴っていたききました。

ももぞの学園建設当時のお話を伺う中で「百代さんの将来を見据えての学園建設ではあったが、百代さん自身、家族との生活(「自宅での日々)は穏やかな暮らしであったと思う」と。

百代さんに「洗濯や食器洗いなど身の回りのことは自分でできるように、そして身だしなみには気を配ることが大切である」と、お母さまは伝えられていたとのことでした。

岡嶋家の生活の中心は百代さんであり、兄妹の関係の中で私自身、母に甘えることもなかったが、母親としての生き様を見せてもらったとも。

そして、現在もももぞの学園で支援者として働く私たち職員に向けて――。

施設での生活を必要とする人は居る。職員が辞めることなく、地域の方と一緒に頑張ってほしい。栗井、足守地域にももぞの学園が生まれて半世紀。私たちがこの地域でできること、すべきことを日々考えながら、ももぞの学園に関わってくださる方々の幸せを探し続けていくことの大切さを改めて感じました。

岡嶋様、広報ももぞの発行にあたり快く引き受けていただきありがとうございます。

この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。  
(松本)

## ももぞの育成園大規模修繕を終えて

ももぞの育成園 園長 押目 康浩

令和元年度に、いよいよ大規模修繕工事が始まるぞと慌ただしく準備に取り組み、まずは旧福寿棟(現在の西棟)が完成しました。続いて令和2年度に旧あじさい棟(現在の南棟)の工事が完成し、このほど旧本館(現在の東棟)の工事完成をもって2年間にわたるももぞの育成園大規模修繕を完了しました。令和3年3月15日に岡山市の完了検査を受け16日に引き渡しとなりました。

時を同じくして令和元年末からはじまった世界規模の「新型コロナウイルス」のパンデミックは日本も例外なく混乱し、大規模修繕時期にもかかわらずその対応を余儀なくされました。現在も法人全体で利用者・職員の命を護ろうと緊張感をもって対策に取り組んでいるところです。利用者の方々に行動を制限され、しかも工事に応じて生活する場所の移動や日課の変更など落ち着くことが難しかったと思います。同時に、ご家族や後見人の方々等にも、多大なご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。しかし、コロナについてはいまだ終息の兆しは見受けられないため、引き続きご迷惑をおかけいたしますが緊急事態としては是非ご協力くださいますようお願いいたします。

さて、ももぞの育成園は全棟大規模修繕が完了し3月22日から28日まで内見会を行い、期間中124名の方々に来園していただきました。続いて、3月29日に

新しい建物で開所式を実施し、4月1日から40名の利用者が真新しい居住棟で生活されています。これより、コロナの時代に負けない明るく新しい新生ももぞの育成園が始まります。どうぞ末永く見守り下さい。



東棟 1F



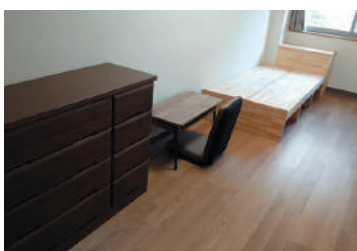
西棟 正面



東棟 玄関



南棟 玄関



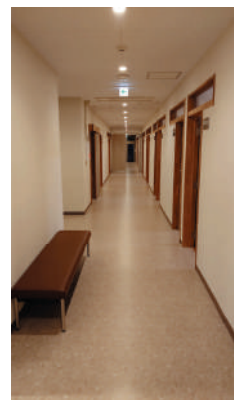
居室 (全室 個室)



開所式



食堂 (床暖房)



廊下 (床暖房)



## 社会福祉法人ももぞの学園 令和2年度事業報告

### I. 実施事業報告

#### 1. 社会福祉事業 2. 公益事業

### II. 運営方針

#### 1. 地域への貢献

##### 【地域貢献活動】

・ももぞの学園周辺地域を耕作放棄地にしなためための農業への取り組み  
・間倉地区、大向・虎々路地区サロン活動及び買い物送迎

##### 【地域交流・地域支援】

・大向・福谷・足守地区などでの活動への協力と参加  
・グループホーム、ライフケアを中心とする事業展開地域での活動への協力と参加

コロナ禍にて、事業内容や規模など制限を受けながらも、計画した事項については、各担当者、委員会担当者を中心として取り組んだ。サロン活動の地域拡大、管理受託農地の拡大など地域のニーズを反映しながら進めてきた。これまでの活動の取り組みを紹介し県福祉

協会でのゆうあいレポートの受賞につながった。

#### 2. 自立支援

施設入所利用児・者の地域移行を継続的に進めてきた。地域移行に向けての段階的な調整や更なる受け皿の確保が必要となり、総社市備中高松地区に新たなサテライト型グループホームを開設した。家族の会を中心に、ももぞの学園における法人後見の実施を検討し、NPO法人化を図った。弁護士、税理士などの各専門職の方を交えて、利用者の財産保全と権利擁護のための法人後見の取り組みを進めている。

#### 3. 人材育成・専門性の向上

各種研修会においては、コロナ禍の影響もあり研修会の中止、あるいは、オンラインでの参加となった。法人の横断的な会議についても、リモートで実施する一方で、安全を考慮し実施そのものを見送るなど、臨機応変に対応した。

各種委員会については、業務執行理事管轄の下、法人の横断的組織として、既存の委員会を再編し取り組んだ。コロナ禍においてほとんどの年間行事を中止せざるを得ない状況ではあったが、禍中においてもできることを真剣に考え、規模を縮小し行事を実施し成果に繋げることができた。令和3年度に向けて、委員会などの法人組織の見直しを行った。

「特定処遇改善」の年度当初からの実施に伴い、検討を重ねてきた「評価制度」について、前期(7月から9月)に試行を行い、後期(10月から3月)の評価制度の運用へとつなげていった。評価制度の目的は個人や組織力をより高めていくものであり、継続した取り組みとして位置づけていく。今後は時代のニーズに合わせて「サービスの質の向上」を目的として、様々な視点から、より良い「福祉文化」が伝承できる形とした「評価制度」を高めていきたい。

#### 4. 経営の透明化

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実地指導ならびに各施設指導監査は実施されなかった。また計画していた第三者評価ならびに内部監査は実施できていない。

#### 5. 経営の安定

人材確保が難しいところがあり、介護人材確保のため、令和2年秋よりミャンマーからの技能実習生2名を受け入れることとしていたが、コロナ禍ならびに国際情勢の不安定さによる影響もあり、いまだ入国には至っていない。一方、継続した採用活動の成果として学卒新規7名を含む11名を採用することができた。人材確保委員会を中心とした取り組みや法人内スタッフの協力体制が実を結んでいる。また、活動休止な

どにおける法人全体での収入減少も予測されたが、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金や特定処遇改善の年間取得に伴う収入の増加もあり、過去最高の事業活動収入を得ることができた。入所施設などにおける感染防止対策として生活上の制限、ならびにマスク着用、消毒、手洗い、検温などの徹底を継続することで、現時点では感染者の発生には至っていない。

### III. 整備計画

①学園北側 水路および進入路、外溝整備工事を実施

②令和元年度 本館・あじさい居住棟改修工事【国市助成事業】

整備完了

③グループホーム整備事業【国市助成事業】

令和2年度補助事業内示

令和3年度実施

### IV. 苦情解決の状況

ももぞの福祉園 2件

(利用者の支援に関すること)



## 社会福祉法人ももぞの学園令和2年度決算報告

■法人単位 貸借対照表 (自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日 (単位: 円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	875,813,141	流動負債	482,327,180
固定資産	2,216,415,603	固定負債	443,171,997
		基本金	66,405,576
		国庫補助金等特別積立金	875,704,014
		その他の積立金	232,500,000
		次期繰越活動増減差額	992,119,977
資産合計	3,092,228,744	負債・純資産合計	3,092,228,744

■法人単位 事業活動計算書 (自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日 (単位: 円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
サービス活動費用	1,112,530,239	サービス活動収益	1,154,135,960
サービス活動外費用	11,371,524	サービス活動外収益	9,919,092
特別費用	322,120,760	特別収益	320,921,970
小計	1,446,022,523	小計	
当期活動増減差額	38,954,499		
合計	1,484,977,022	合計	1,484,977,022

■法人単位 資金収支計算書 (自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日 (単位: 円)

借 方		貸 方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	1,046,574,071	事業活動収入	1,164,055,052
施設整備等支出	496,119,523	施設整備等収入	420,921,970
その他の活動支出	81,632,826	その他の活動収入	43,450,067
当期資金収支差額	4,100,669		
合計	1,628,427,089	合計	1,628,427,089

## 〔令和2年度 寄附者の紹介〕

法人及び各事業所へ寄附金、寄附物品を賜りまして誠にありがとうございました。

## 【個人の部】

原 裕康・岡部広道・有岡道博  
 槇枝富美子・森 充・黒江節子  
 上野省三・末澤大輔・末澤紗希  
 水田艶子・森 利江・片岡道則  
 貝吹弘毅・村上ゆき子・森 毅  
 番木勸晴

## 【団体の部】

今中歯科医院・社会福祉法人山陽新聞  
 社会事業団・倉敷友の会・岡山中央  
 ロータリークラブ・明治安田生命保険  
 相互会社 岡山支社 岡山山西営業部  
 社会福祉法人ももぞの学園後援会

(敬称略・順不同)

皆様のご厚意に

心より感謝申し上げます。

(令和3年3月末日現在)



## 令和3年度 社会福祉法人ももぞの学園 事業計画

創業者の想い、法人理念を実現するため、法人の掲げる「経営方針」を柱に事業計画を策定する。

## 1：地域への貢献

- ①地域貢献活動 (サロン活動・農業・マルシェ)
- ②地域交流・地域活動支援  
(足守中学校区他事業展開地域)
- ③事業展開地域での地域活動への参加

## 2：自立支援

- ①ライフステージ・ライフサイクルに基づく各種事業内容  
【ハード・ソフト】の見直し
- ②地域移行支援
- ③社会体験活動の充実  
(法人内外事業所での見学・体験・計画的実習)
- ④法人後見制度の実施

## 3：人材育成

- ①専門研修の強化(階層・組織・技術)
- ②委員会・PT制度の改革
- ③人事管理制度の改変(評価制度の実施)
- ④木曜会(もくようかいダッシュ)の実施
- ⑤組織形態の見直し
- ⑥自己啓発の推進として「ベスト of ももぞの」の実施

## 4：経営の透明化

- ①第三者評価等の実施
- ②内部監査の実施(業務管理体制)
- ③自主評価の実施

## 5：経営の安定化

- ①財務・経営の安定化
- ②省力化・効率化の推進(ITCの活用)
- ③直接コミュニケーションの強化(業務評価における面接の実施)

新採用職員 (抱負を添えて)

【ももぞの学園】

児童指導員 桑内 緋奈

「利用者の方々が落ち着いた環境で過ごせるよう全力で支援をしていきます!」

【ライフケアももぞの】

介護職員 古賀 万衣良

「利用者の方々が安心安全に生活を送れるよう、誠心誠意努めて参ります」

【ももぞの福祉園】

生活支援員 高山 緑咲

「利用者の方々の笑顔が絶えないようサポートしていきたいです」

【相談支援事業所あみーたII】

相談支援専門員 上田 希代

「利用者の方々や家族の方々に少しでも寄り添い、力になれるよう頑張ります」

【ももぞの育成園】

生活支援員 山本 哲央 「まだまだ不慣れですが精一杯頑張ります、よろしくお願いします」

生活支援員 大野 優 「利用者の方々に寄り添った支援ができるよう、理解を深めていきたいと思ひます」

生活支援員 杉井 葵 「利用者の方々と親身に向き合いサポートできるよう努めていきます」

生活支援員 西山 紗羅 「利用者の方々が安心して生活ができるようにサポートしていきます」

退職者

【ライフケアももぞの】

施設長

中藤 秀貞

【ももぞの学園】

児童指導員

荒木 岳志

【ももぞの育成園】

生活支援員

松本 涼子

【ももぞの福祉園】

生活支援員

植田 浩江

【ヘルパーステーションヨビタミンII】

サービス提供責任者 水田 しのぶ

新管理職登用

【ももぞの福祉園】

施設長

加藤 徹憲



今年度4月より福祉園施設長として異動してまいりました加藤徹憲と申します。重責ではございますが、働く・暮らすを柱として日々、精進してまいりたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

異動者

【法人本部】

常務

黒江 啓介

【ももぞの学園】

施設長

唐川 孔樹

児童発達支援管理責任者

谷山 一真

【ももぞの福祉園】

施設長

加藤 徹憲

サービス管理責任者

山本 龍太

サービス管理責任者

光畑 翔太

【ライフケアももぞの】

施設長

内田 昌良

生活相談員

春名 健吾

【ヘルパーステーションヨビタミンII】

サービス提供責任者

奥津 美保

【児童デイサービスももっこ】

管理者

佐藤 絵美

【就労センターもも】

管理者

武田 和宏

社会福祉法人ももぞの学園 公式 SNS 始めました!

令和3年1月より、ももぞの学園ではソーシャルネットワークサービス(SNS)を利用した情報発信を始めました。Instagram・Twitter・Facebookで毎週各事業所の取り組みや日々の様子などをお送りします。発信内容はどのSNSでも同様となっておりますので、是非お好みのSNSをフォローし、施設の様子を覗いてみてください。



【Instagram】  
@momozono\_1968



【Twitter】  
@momozono\_1968



【Facebook】  
facebook.com/  
momozonogakuen.jp

# 就労継続支援A型事業 就労センターもも 「ご依頼ください!」

就労センターももでは現在、ハウスクリーニング・草刈り・アパートやマンションなどの定期的な日常清掃等の受託を行っております! 一般の業者にも負けません!! ※個人の見解です

また、就労センターももが運営している「駄菓子処みそら(岡山市北区足守1784-6)」では、通常の駄菓子販売のほかに、コロナの終息を願って作った駄菓子詰め合わせ「アマビエセット」を期間限定販売しています。

おかげさまで大好評をいただいております、注目の人気商品となっております!

店頭販売分のほか、ご希望の金額に応じてアマビエセットをお作りすることも可能となっております。

贈り物や差し入れ、お子さまへのお土産にいかがでしょうか。

各作業依頼、駄菓子の注文をFAX・電話にて随時承っておりますので、ご用向きがありましたらお気軽にお問合せ・ご依頼ください。よろしくお願いいたします。



## 【受託作業一例】

- ・草刈り
- ・エアコン清掃

その他、お気軽にご相談ください!



【駄菓子セットの袋詰め真っ最中です】



【エアコンの清掃も承ります!】

## 【お問い合わせ】

岡山市北区足守1784-6

就労センターもも

TEL:086-295-2810 / FAX: 086-295-2811

新しい生活様式への順応を求められ早一年が経過しました。昨年もこうして後記で触れさせていたいただいたことが思い出されて感慨深いやら悲しいやら……。時勢は引き続き息が詰まる生活が続きます。ですが、当法人ではフレッシュな新人職員さんも増え、広報関係ではSNSの運用を始めていたり新しい話題が目白押しの新年度です。今年度も是非お付き合いください。よろしくお願いいたします。

(中谷 令)

## 編集後記

## ももぞの学園後援会への加入のお願い

昭和53年「ももぞの学園後援会」は、市民の立場でももぞの学園を支えて行こうという有志により発足し、以降市民の方々とももぞのをつなぐパイプ役として施設の支援をすすめて参りました。地域福祉の向上と充実に向け更なる支援活動を展開するためにも会への加入を広く呼びかけています。

【加入のご案内】 下記のとおり、郵便振替にて承っております。

○法人会員：一口 10,000円

○個人会員：一口 2,000円

記号番号：01290-1-1995

加入者名：社会福祉法人ももぞの学園後援会

【事務局】〒701-1461 岡山市北区粟井2788番地

TEL: 086-299-0621 FAX: 086-299-0618